

地元の牙城を守る郡司浩平

川崎競輪場開設73周年記念「桜花賞・海老澤清杯」は、4月14日〜17日の日程で開催される。7日からの平塚記念に続き神奈川でのG3レースだ。今シリーズは南関勢の戦力が充実している。エースの郡司浩平をはじめとして松谷秀幸、内藤秀久の地元勢に深谷知広、根田空史とそろっている。しかしながら松浦悠士、清水裕友の中国ゴールデンコンビも差はないし、関東も吉田拓矢、宿口陽一と2枚のSS班を擁するだけに一筋縄ではいきそうにない。誰に勝利の女神がほほ笑むのか、興味津々の4日間だ。

10日が最終日の平塚記念から中2日での参戦となる郡司浩平。まったく気を抜けない地元記念の連戦とあって、体力的な



郡司浩平

面のみならず精神的な疲労も気になるが、そこは地元の気合でカバーするとみて本命に推した。郡司はホームバンクの当所では素晴らしい実績を残している。記念開催は68、70、72周年と3Vを達成しているし、昨年は全日本選抜で優勝した。今年も3月末までに1月和歌山記念のVを含み12勝と順調にきているし、深谷知広、根田空史に頼れる南関の自力型がいるのも心強い。先頭で戦うのか番手戦かは

桜男の春が来る

GIII 桜花賞

川崎競輪 開設73周年記念 海老澤清杯

4月14日(木) 15日(金) 16日(土) 17日(日)

川崎市 KAWASAKI CITY



松浦悠士

メンバー次第だか、どちらでも不安はなく、持てる力を発揮して地元ファンの期待に応える。深谷も当所には好実績を残している。記念開催は63周年でV、平成29年にはアーバンナイトカーニバルを制している。今年はまだ優勝には手が届いていないものの、ウイナーズカップでは①②③着と好走して調子は良好。郡司に前を任せられれば主導権は譲るまい。

連係実績豊富な松浦悠士、清水裕友の中国ゴールデンコンビを重視する手もある。ウイナーズカップの決勝では、逃げた太田竜の番手からまくった松浦を清水が差してワンツーを決めたばかりだ。前後は流動的だが、両者ともに攻め口は多彩なので、どちらが前でも別線には手強いラインとなる。好位置キープから自力を出せれば連独占は大いにあろう。

関東勢もそろっている。SS班の吉田拓矢、宿口陽一をはじめ吉澤純平、金子幸央と動ける選手ばかりだ。中でも吉田は成績を高いレベルでまとめている。今年は1月立川記念でVスタートを決めると、2月奈良記



吉田拓矢

念①①③着、3月玉野記念⑤②①③着。玉野の準決では逃げた脇本雄の番手を奪うとゴール前で差し切った。柔軟性を兼ね備えた自力攻撃が冴え渡っている。吉澤も動きはいい。全日本選抜で①⑦⑥①着と2勝を挙げると、ウイナーズカップでも3日目に勝ち星をゲットしている。チャンスが巡ってくればものにできる状態にあるので、吉田次第では好勝負に持ち込む場面も。

ダークホースは野原雅也だろう。トップスピード、ダッシュ力は一級品で、全日本選抜では最終日特選で原田研、坂井洋、山田庸らを相手にまくりを決めて勝っている。この開催までは1カ月半ほど空くのでレース勘は気になるものの、うまくレースの流れに乗れば一発怖い。守澤太志はなかなか調子が上がってこない。昨年12月広島記念での鎖骨骨折の後遺症が尾を引いている印象だ。完全復調にはもう少し時間がかかるか。北日本勢では成田和也が差し脚好調だ。全日本選抜、ウイナーズカップとビッグレースで立て続けに決勝に乗っている。

「桜花賞・海老澤清杯」 in 川崎 出場予定選手

※2022年3月31日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点					
SS	宿口陽一	埼玉	91期	113.30	S1	根田空史	千葉	94期	108.42	S2	佐藤真一	東京	79期	101.41	S2	中野彰人	和歌山	93期	95.33	S2	市橋司優人	福岡	103期	0.00
SS	守澤太志	秋田	96期	110.07	S1	松谷秀幸	神奈川	96期	110.81	S2	牧剛央	大分	80期	101.42	S2	須永優太	福島	94期	104.06	S2	新納大輝	鹿児島	103期	98.57
SS	松浦悠士	広島	98期	118.33	S1	深谷知広	静岡	96期	114.89	S2	土屋裕二	静岡	81期	100.14	S2	加賀山淳	千葉	94期	98.50	S2	山本紳貴	千葉	107期	98.67
SS	郡司浩平	神奈川	99期	117.75	S1	山下一輝	山口	96期	106.37	S2	中村良二	福岡	81期	98.48	S2	佐川翔吾	大阪	94期	99.71	S2	畷木努	岡山	107期	94.43
SS	清水裕友	山口	105期	113.87	S1	高久保雄介	京都	100期	105.55	S2	友定祐己	岡山	82期	101.67	S2	山本奨	岡山	94期	95.68	S2	佐々木龍	神奈川	109期	103.40
SS	吉田拓矢	茨城	107期	116.61	S1	久米康平	徳島	100期	0.00	S2	山口貴嗣	福岡	82期	102.91	S2	相川永伍	埼玉	95期	98.17	S2	中川勝貴	福井	109期	99.84
S1	内藤宣彦	秋田	67期	107.00	S1	吉澤純平	茨城	101期	112.05	S2	佐藤慎太郎	福岡	83期	100.37	S2	井上嵩	愛知	97期	94.10	S2	木村幸希	広島	109期	98.68
S1	白戸淳太郎	神奈川	74期	105.13	S1	野原雅也	福井	103期	110.54	S2	大木雅也	静岡	83期	99.08	S2	鈴木謙二	東京	97期	99.25	S2	小森貴大	福井	111期	101.18
S1	金子貴志	愛知	75期	101.85	S1	川口聖二	岐阜	103期	103.78	S2	吉本哲郎	広島	84期	96.56	S2	近藤夏樹	千葉	97期	101.50	S2	南潤	和歌山	111期	102.29
S1	小林大介	群馬	79期	103.74	S1	山岸佳太	茨城	107期	106.45	S2	佐々木省司	青森	86期	98.81	S2	松岡篤哉	岐阜	97期	104.52	S2	小林稜武	千葉	113期	95.40
S1	竹内智彦	宮城	84期	106.19	S1	堀内俊介	神奈川	107期	105.64	S2	原真司	岐阜	86期	101.32	S2	佐方良行	熊本	97期	100.63	S2	中釜章成	大阪	113期	97.79
S1	渡部哲男	愛媛	84期	109.25	S1	大石剣士	静岡	109期	104.31	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	99.08	S2	高橋幸司	山形	99期	94.47	S2	藤井将	広島	113期	94.33
S1	川村晃司	京都	85期	103.00	S1	瓜生崇智	熊本	109期	106.38	S2	五十嵐力	神奈川	87期	102.70	S2	名川豊	福岡	99期	93.19	S2	薦田将伍	愛媛	113期	98.08
S1	東口善朋	和歌山	85期	111.23	S1	岩谷拓磨	福岡	115期	107.96	S2	荻原尚人	宮城	89期	103.53	S2	坂本周輝	青森	100期	100.75	S2	後藤悠	岩手	115期	94.63
S1	成田和也	福島	88期	114.94	S2	島野浩司	愛知	62期	100.29	S2	伊藤大彦	徳島	89期	99.53	S2	伊東翔貴	福島	100期	100.00	S2	阿部架惟都	宮城	115期	93.65
S1	渡邊一成	福島	88期	107.95	S2	水谷良和	愛知	70期	101.22	S2	竹澤浩司	富山	90期	92.59	S2	岡田泰地	栃木	100期	102.32	S2	寺沼拓摩	東京	115期	101.00
S1	福田知也	神奈川	88期	104.68	S2	飯田辰哉	千葉	72期	98.14	S2	小岩大介	大分	90期	107.71	S2	恩田淳平	群馬	100期	105.44	S2	青野将大	神奈川	117期	104.87
S1	内藤秀久	神奈川	89期	108.50	S2	佐藤康紀	青森	73期	102.38	S2	山下渡	茨城	91期	103.46	S2	大洞翔平	岐阜	100期	97.22	S2	佐々木真也	神奈川	117期	104.33
S1	山中貴雄	高知	90期	106.45	S2	齊藤竜也	神奈川	73期	99.09	S2	中川貴徳	栃木	91期	100.87	S2	窓場千加頼	京都	100期	103.57	S2	鈴木陸来	静岡	117期	102.29
S1	小川勇介	福岡	90期	108.39	S2	小嶋敬二	石川	74期	95.54	S2	柿沼信也	埼玉	91期	99.50	S2	久島尚樹	宮崎	100期	99.46	S2	松本秀之介	熊本	117期	106.63
S1	天田裕輝	群馬	91期	103.65	S2	原田隆	大阪	77期	93.47	S2	大西祐	愛媛	91期	96.83	S2	金子幸央	栃木	101期	109.08	S2				
S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	105.69	S2	北野武史	石川	78期	102.60	S2	野本翔太	高知	91期	96.77	S2	土屋壮登	埼玉	101期	95.04	S2				